

令和2年度家族計画・母体保護法指導者講習会開催要綱

1. 目的：母体保護法指定医師に必要な家族計画ならびに同法に関連する最新知識について指導者講習を行い、母体保護法の運営の適正を期する。
2. 主催：日本医師会・厚生労働省
3. 開催日：令和2年12月5日（土）
4. 内容：プログラムのとおり
5. 会場：オンライン開催とし都道府県医師会館で受講
（パネルディスカッションの中で質問を受付ける予定です。）
6. 参加者：（1）各都道府県医師会代表者（1名）
（2）都道府県医師会会員
（3）日本産婦人科医会会員
7. 申込方法：都道府県医師会を通じて行います。
受講票は申込者宛に直接お送りします。
8. 申込締切：令和2年11月20日（金）
9. その他：（1）参加費は無料です。
（2）都道府県医師会代表者1名分の旅費は日本医師会で負担します。
10. 研修証明（単位の取得）について
都道府県医師会から提出された出席者名簿に基づき以下とします。
（1）日本医師会生涯教育制度単位：「全国医師会研修管理システム」に自動的に登録されます。参加者には、CCO（その他）2単位。
（2）日本産科婦人科学会の単位：申請中
（3）日本産婦人科医会の参加証：医会シールを後日郵送します。
11. 問合せ先：健康医療第二課
TEL 03-3942-8181（直通）

令和2年度家族計画・母体保護法指導者講習会プログラム

日時：令和2年12月5日(土)13:00~15:30

日本医師会館 WEB開催

1. 開会 (13:00) 司会:渡辺 弘司(日本医師会常任理事)

2. 挨拶 (13:00~13:10)

日本医師会

厚生労働省

日本産婦人科医会

3. シンポジウム (13:10~14:10)

座長:渡辺 弘司(日本医師会常任理事)

テーマ「暴力から女性・母性をまもるために」

(1) 性暴力被害と妊娠についてより一層の理解を深めるために(仮題) (20分)

種部 恭子(富山県医師会常任理事)

(2) 日常生活の中における暴力と妊娠について(15分×2)

①妊娠中絶の選択をした場合の理解と、寄り添うべき身体的・心理的問題点について(仮題)

石渡 勇(日本産婦人科医会副会長)

②妊娠中絶の選択をした場合の理解と、配慮すべき法律的問題点とその対応について(仮題)

児玉 安司(新星総合法律事務所(医師・弁護士))

(3) 指定発言—行政の立場から(最近の母子保健行政の動き) (10分)

小林 秀幸(厚生労働省子ども家庭局母子保健課長)

4. パネルディスカッション、質疑応答(14:10~15:30)

座長:渡辺 弘司(日本医師会常任理事)

平原 史樹(日本産婦人科医会副会長)

種部 恭子(富山県医師会常任理事)

石渡 勇(日本産婦人科医会副会長)

児玉 安司(新星総合法律事務所(医師・弁護士))

小林 秀幸(厚生労働省子ども家庭局母子保健課長)

5. 閉会(15:30)